



台湾文化連続講座

# フォルモサからの風

2016

フォルモサ——台湾のこと。ポルトガル語で「美しい(島)」の意味

第1回

唐諾 [文芸評論家] × 五十嵐真子 [文化人類学者]

対談「台湾の日本記憶 日本の台湾記憶」

2016

7/2

±

13:00—15:00

◎唐諾 (Tang Nuo / とう だく) 1958年台湾宜蘭県生まれ。本名：謝材俊。台湾大学歴史系卒業。妻は台湾の著名な作家・朱天心。“專業讀書人”を自称し、『文字的故事』『閲読的故事』『読者時代』『人間孔子』『カフェでであった14人の作家』(2010年『中国時報』「開卷十大好書」選出)など著書多数。侯孝賢監督の映画『風櫃の少年』中の楽曲を作词、『悲情城市』には友情出演している。

◎五十嵐真子 (いがらし まさこ) 1965年名古屋生まれ。南山大学大学院文学研究科文化人類学専攻博士後期課程満期退学。野外民族博物館リトルワールド研究員を経て、神戸学院大学人文学部(2015年3月まで)。著書に『戦後台湾における(日本)—植民地経験の連続・変貌・利用』(共編)、『現代台湾宗教の諸相—台湾漢族に関する文化人類学的研究』など。

定員 ● 100名(参加無料・通訳あり)

会場

愛知大学名古屋キャンパス 講義棟8F L801教室

名古屋市中村区平池町4丁目60-6 Tel: 052-564-6111代 名古屋駅より徒歩約10分。あおなみ線さしまライブ駅下車。

第2回

「島、その独立した不遜さ」

蘇偉貞 [作家]

聞き手 ● 倉本知明 [台湾・文藻外語大学助理教授]

2016

7/23

±

14:00—16:00

◎蘇偉貞 (Su Wei-chen / そ いてい) 1954年台湾台南生まれ。外省人二世の女性作家。女性の性と身体を独特の美意識で描きだし、その作品はジェンダーやエスニシティ研究など幅広い分野に影響を与える。また自らが育った国民党軍人とその家族たちが暮らす官宮村落・眷村をテーマにした作品も多い。作家・張愛玲の研究者としても知られ、台湾の国立成功大学で教鞭を執るなど、創作と研究を両輪に活躍する。代表作『沈黙の島』(第1回時報文学百万小説特別審査員賞受賞)の邦訳『沈黙の島』(倉本知明訳、あるむ)が、この春刊行された。

◎倉本知明(くらもと ともあき) 1982年生まれ。専門は比較文学。台湾高雄在住。蘇偉貞著『沈黙の島』の翻訳者。主な論文に「愛情のユートピアから情欲と狂気のディストピアへ—「解嚴」前後における蘇偉貞の眷村表象」「煩悶」の日本語教育—戦後台湾における日本語教育を視座として」など。

第3回

「台湾ニューシネマの回顧と展望」

陳儒修 [台湾・政治大学メディア学科教授]

聞き手 ● 藤木秀朗 [名古屋大学大学院文学研究科教授] / 馬然 [名古屋大学大学院文学研究科准教授]

2016

9/17

±

14:00—16:00

◎陳儒修 (Chen Ru-shou / ちん じゅしゅう) 1961年台湾基隆市生まれ。台湾大学外国語文学系卒業後、南カリフォルニア大学で映画芸術学博士号を取得。専門は映画理論、映画史、台湾映画。主な著書に『台湾新電影の歴史文化経験』『電影帝国』、『Cinema Taiwan: Politics, Popularity and State of the Arts』(共著)、邦訳論文に「二十年後から『悲情城市』再考—音声・映像・時間・空間」「『海角七号』における時間と空間との交錯」など。

◎藤木秀朗(ふじき ひであき) 専門は映像文化。主な著書に『増殖するベルソナー—映画スターダムの成立と日本近代』、編著に『観客へのアプローチ』(日本映画史叢書14)など。

◎馬然 (Ma Ran / マラン) 専門は美学・美術史。主な論文に“A Genealogy of Film Festivals in the People's Republic of China” “Regarding the Grassroots Chinese Independent Film Festivals”など。

定員 ● 各40名(参加無料・先着順・通訳あり)

会場

ジュンク堂書店ロフト名古屋店 7Fブックサロン

名古屋市中区栄3丁目18-1 ナディアパークB1・7F Tel: 052-249-5592

地下鉄東山線栄駅サカエチカ7・8番出口より徒歩7分。地下鉄名城線栄場町駅5・6番出口より徒歩5分。

主催 ● 愛知大学国際問題研究所 / 愛知大学現代中国学会

共催 ● 台湾文化部

後援 ● 台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター

協力 ● あるむ

お問い合わせ ● 愛知大学国際問題研究所 Tel: 052-564-6121 e-mail: kokken@ml.aichi-u.ac.jp

あるむ Tel: 052-332-0861 e-mail: arm@a.email.ne.jp (担当: 吉田)



台湾文化光点計画